

# 公募説明会

2025.6.18

15:00-15:30

2025.6.19

15:00-15:30

## Tohoku Forum for Creativity

人が集い 共に学び 創造する

坪井俊

[takashi.tsuboi.b6@tohoku.ac.jp](mailto:takashi.tsuboi.b6@tohoku.ac.jp)

影山徹哉

[tetsuya.kageyama.d1@tohoku.ac.jp](mailto:tetsuya.kageyama.d1@tohoku.ac.jp)

古賀高雄

[takao.koga.a2@tohoku.ac.jp](mailto:takao.koga.a2@tohoku.ac.jp)

Adrian Grabos

[adrian.grabos.b8@tohoku.ac.jp](mailto:adrian.grabos.b8@tohoku.ac.jp)

黄璐

[huang.lu.e5@tohoku.ac.jp](mailto:huang.lu.e5@tohoku.ac.jp)



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

# 知の創出センター：国際的に開かれた日本初の訪問滞在型研究センター



## ミッション

- 国際的研究支援
- 異分野融合の促進
- 国際的人材育成支援

プレミアムスポンサー

**TEL**<sup>TM</sup>  
TOKYO ELECTRON



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

# 2025年度知のフォーラムプログラム募集



## 知のフォーラムとは？

知の創造センターは、日本初の本格的知創造推進センターとして、新しい知の創出に挑戦して取り組む「知のフォーラム」を運営してきました。その上たるで、人財育成の成果評価制度に資することを目的とするテーマプログラム、若手が主となって新しい課題に挑戦するジュニアリサーチプログラム、企業等と連携した社会課題解決を目指す未来社会デザインプログラムです。また、プログラムへの採択申請は論文発表などの成果目標を設けています。

## 知のフォーラム プログラム募集



Thematic Program  
Junior Research Program  
Future Society Design Program

2027  
開催

2026  
開催

### プログラム推進支援

#### 01 財政的支援

- 2027年度 Thematic Program: 500万円～1000万円 (※500万円～1500万円)
- 2027年度 Junior Research Program: 300万円 (※150万円)
- 2026年度 Future Society Design Program: 300万円 (※150万円) (企業からの採択決定後決定)

#### 02 専属スタッフのサポート

プログラムの実施に関する活動支援を行います。イベントの企画 (PRやポスター等) 等、あらゆる研究活動プログラムの運営をサポートいたします。

#### 03 知の館の利用

シンポジウムやワークショップの会場として知の館 (TOHOKU ELECTRON HOUSE of Creativity) を活用していただけます。

趣意書  
提出期限

**2025年8月31日**  
Email: [tfc\\_pg@grp.tohoku.ac.jp](mailto:tfc_pg@grp.tohoku.ac.jp)

提案書  
提出期限

**2025年9月30日**  
Email: [submission\\_tfc@grp.tohoku.ac.jp](mailto:submission_tfc@grp.tohoku.ac.jp)

[www.tfc.tohoku.ac.jp/programs/propose\\_a\\_program/to\\_propose\\_a\\_program.html](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/programs/propose_a_program/to_propose_a_program.html)

詳細はこちら



東北大学 研究推進・支援機構 知の創出センター  
知のフォーラム事業

## 公募説明会

オンライン  
開催!

15分説明 / 15分質疑 ※日本語で行います

6/18 (水) 15:00-15:30

6/19 (木) 15:00-15:30

### 研究プログラム支援

【知のフォーラム】において2027年度に開催されるテーマプログラム、ジュニアリサーチプログラム、2026年度に開催される未来社会デザインプログラムを募集しております。

趣意書提出期限: 2025年8月31日  
提案書応募期限: 2025年9月30日

#### 2027年度 テーマプログラム Thematic Program

テーマプログラムの目的は、学術的・社会的に重要な課題を解決すること、領域横断研究を促進すること、若手研究者を育成することです。

#### 2027年度 ジュニアリサーチプログラム Junior Research Program

ジュニアリサーチプログラムは、次代の学術研究を担うグローバルリーダーを育成することを目的としています。人文社会科学から自然科学まであらゆる領域からの応募が可能です。応募者独自の関心に沿った学術イベントを企画・実施していただけます。

#### 2026年度 未来社会デザインプログラム Future Society Design Program

未来社会デザインプログラムでは、産学連携によるビジョン共創に取り組み、社会の共通課題の解決や研究成果の社会実装を目的として学術イベントを企画・実施していただけます。

	Thematic Program	Junior Research Program	Future Society Design Program
財政的支援	500万円～1000万円 (※500万円～1500万円)	300万円 (※500万円)	300万円 (※500万円) 企業からの採択決定後決定
申請者資格	■ 国内外の研究員	■ 45歳以下 (※17歳未満から10歳以上の東北大学に在学者)	■ 東北大学の研究者
オーガナイザー要件	■ 東北大学の研究員(1人以上) ■ 専任・非常勤中心の研究員 ■ 海外研究者(2人以上)	■ 専任研究員中心の研究員 ■ 海外研究者(1人以上)	■ 専任研究員中心の研究員 ■ 企業関係者(1人以上) ■ 海外研究者(1人以上)
申請書類	■ 申請書	■ 申請書	■ 申請書

※申請書提出の場

参加申込  
(要登録)

申込  
締切  
6.17 (水)  
15:00

参加希望の方はQRコードまたは、下記URLからお申込下さい。  
<https://forms.gle/LryfHc4q3nwt4674A>

【お問合せ先】 東北大学研究推進・支援機構 知の創出センター Email: [tfc\\_pg@grp.tohoku.ac.jp](mailto:tfc_pg@grp.tohoku.ac.jp)



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

[www.tfc.tohoku.ac.jp](http://www.tfc.tohoku.ac.jp)



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

# 知のフォーラム 2025年度公募プログラム(8月31日趣意書9月30日提案書締切)概要

		Thematic Program	Junior Research Program	Future Society Design Program
ねらい		人類社会の共通課題解決に貢献する新しい学際的研究の開拓	若手研究者主体の学際的研究の支援とグローバルリーダーの育成	総合知による社会課題解決を目指した未来社会のデザイン
構成要素		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 著名海外研究者の長期滞在</li> <li>■ 複数の学術イベント*</li> <li>■ 若手との相互触発的な交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 若手研究者主導</li> <li>■ 著名海外研究者の長期滞在</li> <li>■ 複数の学術イベント*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業が有する社会課題の解決</li> <li>■ 複数の学術イベント*</li> <li>■ 若手との相互触発的な交流</li> </ul>
開催予定年度		2027年度	2027年度	2026年度
申請条件	主たる申請者資格	■ 国内外の研究者	■ 45歳以下or博士取得10年以内の東北大学若手研究者	■ 東北大学の研究者
	オーガナイザー要件(6名以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東北大の研究者(1人以上)</li> <li>■ 複数分野からの研究者</li> <li>■ 海外研究者(2人以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 複数分野からの若手研究者</li> <li>■ 海外研究者(1人以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 複数分野からの研究者</li> <li>■ 企業等関係者(1人以上)</li> <li>■ 海外研究者(1人以上)</li> </ul>
	申請言語	■ 英語	■ 英語	■ 英語
支援内容	財政支援 (*予算増額の場合)	500万円~1000万円 (*500万円~1500万円)	300万円(*500万円)	300万円(*500万円) 企業からの財政支援が必須
	実務支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プログラムコーディネータ、スタッフのサポートによる実務負担の軽減 プログラム運営・研究者招聘手続き・イベント広報(HPやポスター作成)等</li> <li>■ 「知の館」(TOKYO ELECTRON house of Creativity)の利用</li> </ul>		

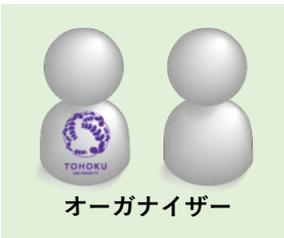
**プログラム申請支援：応募申請前にコーディネータに相談可能です。趣意書提出先 [tfc\\_pg@grp.tohoku.ac.jp](mailto:tfc_pg@grp.tohoku.ac.jp)**

\*学術イベントの例…国際シンポジウム・国際ワークショップ・セミナー・Webinar・集中講義・公開講座・市民カフェ・展示 など

公募説明会(オンライン)を開催予定(6月18日、6月19日) [https://www.tfc.tohoku.ac.jp/jp/forum/propose\\_a\\_program/](https://www.tfc.tohoku.ac.jp/jp/forum/propose_a_program/)



# 知の創出センターの組織



研究推進・支援機構  
知の創出センター  
Tohoku Forum for Creativity (TFC)  
センター長(理事・副学長(研究担当))



杉本 亜砂子

副センター長



坪井 俊

プログラムコーディネータ



古賀 高雄



影山 徹哉



グラボシュ  
アドリアン



黄 璐

Support

国際アドバイザリーボード  
IAB (International Advisory Board)

高等研究機構  
OAS (Organization for Advanced Studies)



事務長 蜂谷 俊幸

Support

係長



渡辺 幹博

コンタクトパーソン



工藤 さつき



谷津 愛果



高橋 千明



大谷 優輝

広報



遠藤 悠香子



小林 亜由美



三浦 利穂

会計/情報



永山 弘一

副センター長  
秘書



土屋 昌子

2025/6/2 現在



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

# 知のフォーラムプログラムの企画・運営

プログラム  
運営



オーガナイザー

学術的な  
バックグラウンドに加え、  
多様な背景をもつ研究者  
と共にワークショップや  
セミナーを企画・運営する

コーディネータ

用度・会計

IT

広報

コンタクト  
パーソン



# アドバイザー

## 特別顧問



**東 哲郎**  
東京エレクトロン株式会社  
前最高経営責任者



**小林 誠**  
ノーベル物理学賞受賞者  
高エネルギー加速器研究機構  
特別栄誉教授

## 国際アドバイザーリーボード



**原山 優子**  
東北大学  
名誉教授



**Mathias Kläui**  
ヨハネス・ゲーテンベルク大学  
マインツ教授



**Roeland Merks**  
ローレンツセンター  
所長



**仲 真紀子**  
国立研究開発法人  
理化学研究所  
理事長特別補佐

Sendai, Tohoku Univ.



**大栗 博司**  
カリフォルニア工科大学  
フレッド・カブリ冠教授、  
ウォルター・パーク  
理論物理学研究所 所長



**Huey-Jen Jenny Su**  
国立成功大学  
教授



**Fiona M. Watt**  
欧州分子生物学機構  
理事長

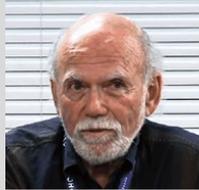


**矢守 克也**  
京都大学防災研究所  
巨大災害研究センター  
教授



# 世界第一線級の研究者を招聘

## 2013年度



**Barry Barish**  
2017年  
ノーベル物理学賞

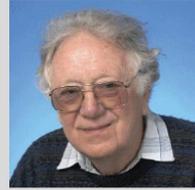


**Steven Weinberg**  
1979年  
ノーベル物理学賞



**David Gross**  
2004年  
ノーベル物理学賞

## 2014年度

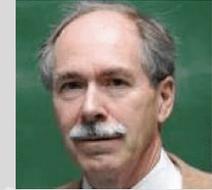


**Oliver Smithies**  
2007年ノーベル  
生理学・医学賞



**天野 浩**  
2014年  
ノーベル物理学賞

## 2015年度



**Gerardus 't Hooft**  
1999年  
ノーベル物理学賞

## 2015年度



**François Englert**  
2013年  
ノーベル物理学賞



**Martin Hairer**  
2014年  
フィールズ賞



**小林 誠**  
2008年  
ノーベル物理学賞



**Susumu Tonegawa**  
1987年ノーベル  
生理学・医学賞



**田中 耕一**  
2002年  
ノーベル化学賞



**Klaus von Klitzing**  
1985年  
ノーベル物理学賞

## 2015年度



**Edvard Ingjald Moser**  
2014年ノーベル  
生理学・医学賞



**Maxim Kontsevich**  
1998年  
フィールズ賞



**Shing-Tung Yau**  
1982年  
フィールズ賞



**深谷 賢治**  
2009年  
朝日賞



**Peter A. Grünberg**  
2007年  
ノーベル物理学賞



**小宮山 宏**  
第28代  
東京大学総長

## 2016年度



# 世界第一線級の研究者を招聘

## 2017年度



梶田 隆章  
2015年  
ノーベル物理学賞



柳田 充弘  
2011年  
文化勲章



Edward Witten  
1990年  
フィールズ賞



Shing-Tung Yau  
1982年  
フィールズ賞



Jennifer A. Doudna  
2020年  
ノーベル化学賞



Daniel Shechtman  
2011年  
ノーベル化学賞

## 2019年度



鳥居 啓子  
2021年  
朝日賞

## 2020年度



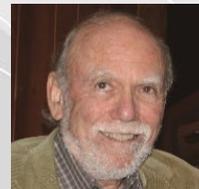
本庶 佑  
2018年ノーベル  
生理学・医学賞



©東京大学宇宙線研究所  
梶田 隆章  
2015年  
ノーベル物理学賞



Rainer Weiss  
2017年  
ノーベル物理学賞



Barry Barish  
2017年  
ノーベル物理学賞



Barry Barish  
2017年  
ノーベル物理学賞

## 2024年度



Martha Belury  
アメリカ栄養学会  
元会長



Wolfram Schultz  
2017年  
ブレインプライズ



# テーマプログラム・ジュニアリサーチプログラム

	テーマプログラム				ジュニアリサーチプログラム		
2013	ヒッグス粒子の発見と今後のゆくえ						
2014	大規模大量データ時代の統計解析と社会経済での利活用	次世代の医療情報インフラストラクチャ構築に向けて	大震災の復興と今後の国際防災戦略 -実践防災学の創成-				
2015	脳科学研究最前線	弦理論、ブラックホール、量子情報とその相互関係を含む量子物理学における基本問題について	スピントロニクス -数学からデバイスまで-	技術変化が社会移動・所得分配に及ぼす影響に関する理論的実証的研究			
2016	現代幾何学：代数学及び物理学との新しい協働	地球惑星ダイナミクス	マテリアル・システム・エネルギーの総合研究-地球環境と文明の持続的発展のために	21世紀の支倉常長プロジェクト：新たな日本学の創出	人権保護のための学際的アプローチ：アカデミア・国家・市民社会の協働に向けたネットワーク構築		
2017	加齢科学の学際的展開～分子から社会まで	非線形偏微分方程式、その未知なる応用に向けて	農免疫による食科学の新展開			ナノ構造磁性材料：次世代材料への挑戦	日本・アジア・世界における危機と革新の政治的・社会的ダイナミクス
2018	東北アジアの大陸地殻安定化と人類の環境適応	東北ユニバーサル音コミュニケーション月間2018	ケミカルコミュニケーションの最前線	ストリング理論と数学 2018			
2019	植物幹細胞：植物の生命力の源	準結晶と強相関電子系物質の相乗効果による新たな展開	がん-その生物から受容まで	材料科学の未来：次の100年に向けた技術革新			
2020	人の幸せを大切にIoT社会のデザイン-企業と大学による協働・共鳴の新しい形を目指して-	市場経済における環境と金融リスク	バイオバンクが拓く健康未来社会	重力波宇宙論の幕開けと重力理論			

# テーマプログラム・ジュニアリサーチプログラム・ 未来社会デザインプログラム

2020  
2021  
2022  
2023  
2024

テーマプログラム	
市場経済における環境と金融リスク	バイオバンクが拓く健康未来社会
2011年東日本大震災：教訓と複合災害・連鎖災害への世界的適用	量子アニーリングのハイパフォーマンスコンピューティング - 実世界のシステムの最適化
革新的レドックス生物学が拓く医学イノベーション	ユーラシア石器時代の人類史：考古学、古人類学、遺伝学の最新成果
地球内部とダイナミクスの理解のフロンティア	
海洋環境と海洋生態系の統合的な理解	
未来の食のデザイン	コミュニケーションの未来を拓く

ジュニアリサーチプログラム
重力波宇宙論の幕開けと重力理論
ヒトの社会性：社会進化と歴史的ダイナミクスに関する比較研究
東北イニシアティブ "ニューロテックイノベーション"
強く相互作用する量子少数多体系の普遍性

未来社会デザインプログラム		
Matching Fund Programs	Corporate Sponsorship Programs	
	TEL協働プログラム 人の幸せを大切にIoT社会のデザイン・企業と大学による協働・共鳴の新しい形を目指して-	
	アクサ協働プログラム デジタル社会における保険イノベーション	
動力学・物理・化学エネルギーを利用したCFRPへの耐雷性金属コーティング技術の確立	公共空間を活用したダイバーシティ&インクルージョン推進プロジェクト～パブリックスペースにおけるポッチャ体験モデルの確立に向けて～	TEL協働プログラム デジタル×サステナブル社会のデザイン
XR技術の教育・社会貢献 - メタバースと国際協創 -		アクサ協働プログラム デジタル社会における保険イノベーション
環境由来ストレスへの応答メカニズム解明から挑む人類の生存戦略	エネルギー関連インフラの持続可能な構造健全性	TEL協働プログラム デジタル×サステナブル社会のデザイン
持続可能なエネルギー戦略における原子力の位置付け - リスクマネジメントの観点からの再定義	どうすれば日本の民主主義のデジタル化は進むのか - 制度・意識・技術の視点から考えるデジタル・デモクラシーに向けての環境整備	アクサ協働プログラム デジタル社会における保険イノベーション
	木とともにある社会の変革をもたらすレジリエントな未来都市と森林を目指して	TEL協働プログラム
	東北発 未来へのトランジション	アクサ協働プログラム



# テーマプログラム・ジュニアリサーチプログラム・ 未来社会デザインプログラム

	テーマプログラム	ジュニアリサーチプログラム	未来社会デザインプログラム	
			Matching Fund Programs	Corporate Sponsorship Programs
2025	<p>因果が織りなす世界</p> <p>大規模データ活用による個別化予防・医療の推進</p>	<p>分子マシンとマルチスケール応用</p> <p>The Theory of Periodic Tangles and Their Interdisciplinary Applications</p>	<p>超硫黄生命科学切り開く健康社会の新時代</p>	<p>TEL協働プログラム</p>
2026	<p>シンクロトロン放射光とともに新たな科学の地平へ</p>	<p>X-ray Spectroscopy for Future Nano Materials Science</p> <p>International Forum of Solid State Batteries – Novel Approach to Design of Energy Storage Materials</p>		<p>TEL協働プログラム</p>
2027				<p>TEL協働プログラム</p>
2028				
2029				



2022

2023

# XR技術の教育・社会貢献 — メタバースと国際協創 —

Tohoku Forum for Creativity  
Future Society Design Program 2022 - 2023

## Contributions of XR Technology to Education and Society

The Metaverse and International Collaborative Creation

October 2022 - March 2024



www.tfc.tohoku.ac.jp/  
future-society-design-program/  
program/5002.html



### Events

- International Symposium 1 : The Metaverse and XR Technology - Educational Applications and International Collaboration (December 2 - 3, 2022)
- International Symposium 2 : XR Technology and International Collaboration - Educational and Social Contributions
- Workshop: XR Technology and The Metaverse - Now and in the Future
- Public Forum : The Future of XR Technology and its Implications

### Organizers

Masako Hayashi (Tohoku University) Norihiro Nakamura (Tohoku University) Masayuki Ohzeki (Tohoku University)  
Yusuke Morita (Waseda University) Hidetumi Yagi (Tohoku University) Takeshi Koike (ASA DIGITAL) Ryo Kitamura (RICOH JAPAN)



Co-hosted by



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

www.tfc.tohoku.ac.jp



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

2023

# 海洋環境と海洋生態系の統合的な理解

TOHOKU UNIVERSITY

100th Anniversary  
Tohoku Forum for Creativity  
Tohoku University  
Thematic Program 2023

## Integrated Understanding of Marine Environment and Marine Ecosystems

October – December 2023

[www.tfc.tohoku.ac.jp/program/2167.html](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/program/2167.html)

### Events

- International Symposium "Past, Present, and Future of the Marine Environment and Ecosystems" (October 18 – 20, 2023)
- International Workshop "Pathways Toward an Integrated Understanding of the Marine Environment and Marine Ecosystems" (December 5 – 6, 2023)
- Lecture Series on the Marine Environment and Ecosystem (TBA)
- Public Lectures (December 13, 2023)

### Organizers

Toshio Suga (Tohoku University)    Toyonobu Fujii (Tohoku University)    Michio Kondoh (Tohoku University)  
 Nicholas M. Luscombe (OIST)    Ulf Dieckmann (OIST)    Michio Kawamiya (JAMSTEC)

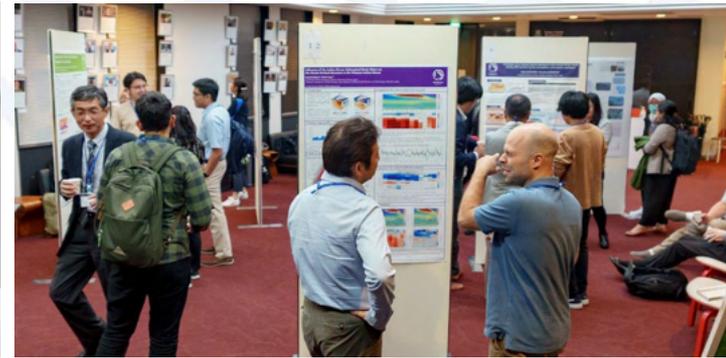
Premium Sponsor **TEL** TOHOKU ELECTRONICS Gold Sponsor **AA**

Co-hosted by Graduate School of Science, Tohoku University; Graduate School of Life Sciences, Tohoku University; Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University; Graduate School of Environmental Studies, Tohoku University; The International Joint Graduate Program in Earth and Environmental Sciences



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

[www.tfc.tohoku.ac.jp](http://www.tfc.tohoku.ac.jp)



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

2023

# 東北イニシアティブ “ニューロテックイノベーション”

TOHOKU UNIVERSITY

Tohoku Forum for Creativity  
Tohoku University  
10th Anniversary  
Junior Research Program 2023

Tohoku Initiative for NeuroTech Innovations

July - August 2023

[www.tfc.tohoku.ac.jp/junior-research-program/program/8006.html](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/junior-research-program/program/8006.html)

Events

- The 7th FRIS-TFC Collaboration Event / The JNS2023 Satellite Program
- Tohoku NeuroTech Symposium (TNS) [July 31, 2023]
- NeuroTech Art Exhibition [July 31, 2023 - August 4, 2023]

Keynote Speakers

- Haruhiko Bito (The University of Tokyo)
- Naotaka Fujii (Ipsos Inc.)
- Ken-ichiro Tsutsui (Tohoku University)

Representative Invited Speakers

- Ritchie Chen (University of California, San Francisco)
- Yukinori Hirano (The Hong Kong University of Science and Technology)
- Ryutaro Mori (Konica Minolta Inc.)
- Maryka Yee Usuisaari (Duke University)

Program Advisors

- Noriko Doimi (Tohoku University)
- Hajime Moshike (Tohoku University)

Organizers

- Yuanxuan Guo (Tohoku University)
- Hiroya Abe (Tohoku University)
- Takashi Ichiwasa (Tohoku University)
- Tamaki Iwama (Artist / Former Ph.D. student at Tohoku University)

Premium Sponsor: TEL

Gold Sponsor: [Logo]

Co-hosted by: FRIS

In cooperation with: TI-FRIS

TOHOKU FORUM for CREATIVITY

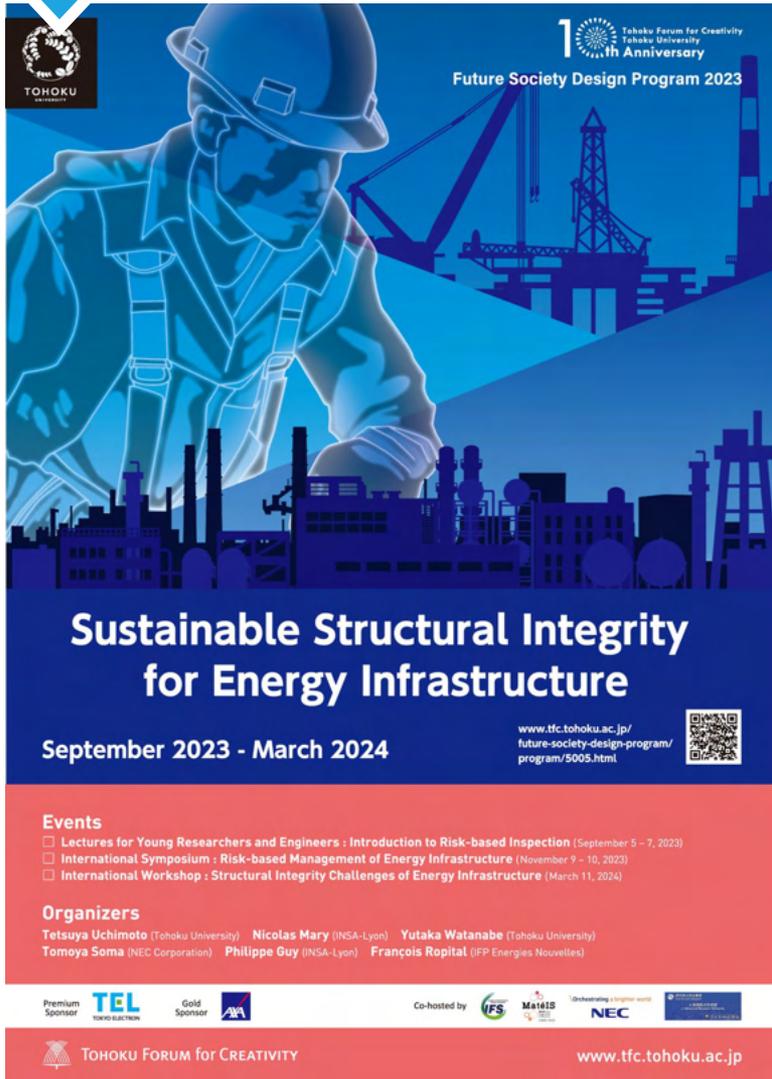
[www.tfc.tohoku.ac.jp](http://www.tfc.tohoku.ac.jp)



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

2023

# エネルギー関連インフラの持続可能な構造健全性



**10th Anniversary**  
Tohoku Forum for Creativity  
Tohoku University

Future Society Design Program 2023

## Sustainable Structural Integrity for Energy Infrastructure

September 2023 - March 2024

[www.tfc.tohoku.ac.jp/future-society-design-program/program/5005.html](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/future-society-design-program/program/5005.html)



**Events**

- ▣ Lectures for Young Researchers and Engineers : Introduction to Risk-based Inspection (September 5 - 7, 2023)
- ▣ International Symposium : Risk-based Management of Energy Infrastructure (November 9 - 10, 2023)
- ▣ International Workshop : Structural Integrity Challenges of Energy Infrastructure (March 11, 2024)

**Organizers**

Tetsuya Uchimoto (Tohoku University) Nicolas Mary (INSA-Lyon) Yutaka Watanabe (Tohoku University)  
Tomoya Soma (NEC Corporation) Philippe Guy (INSA-Lyon) François Rogital (IFP Energies Nouvelles)

Premium Sponsor **TEL** Gold Sponsor **AA** Co-hosted by **IFS** **Mat&IS** **NEC**

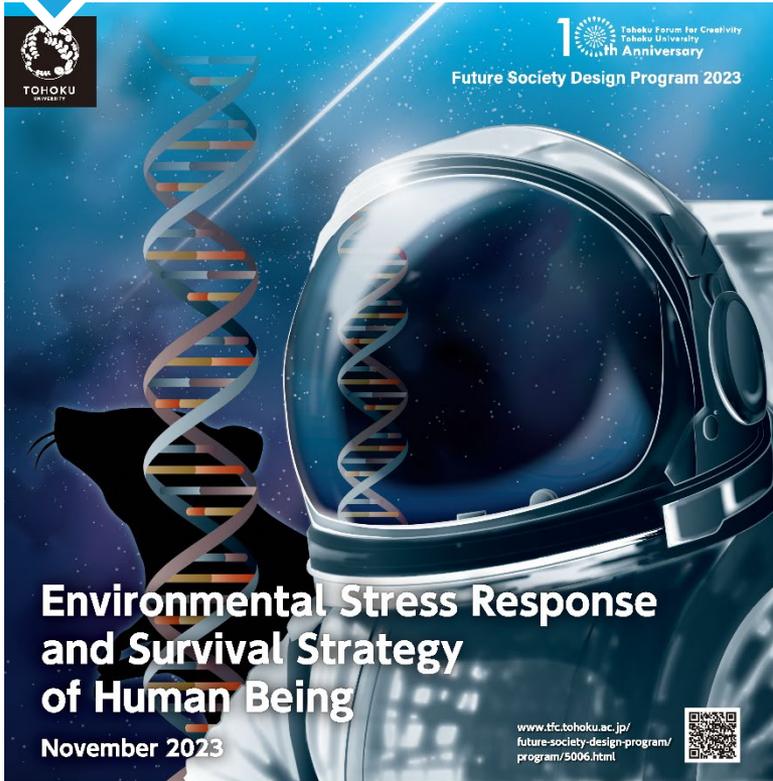
TOHOKU FORUM for CREATIVITY [www.tfc.tohoku.ac.jp](http://www.tfc.tohoku.ac.jp)



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

2023

# 環境由来ストレスへの応答メカニズム解明から挑む人類の生存戦略



### Events

- International Symposium: The Environmental Response VI (November 3 – 5, 2023)
- Public Lecture: Space & Health (November 5, 2023)

### Organizers

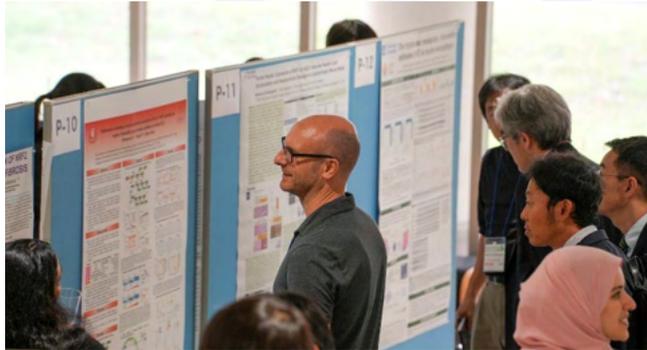
Masayuki Yamamoto (Tohoku University) Antonio Cuadrado (Autonomous University of Madrid) Ken Itoh (Hiroasaki University)  
 Thomas W. Kensler (Fred Hutchinson Cancer Center) Anna-Liisa Levonen (University of Eastern Finland)  
 Dai Shiba (Japan Aerospace Exploration Agency)

Premium Sponsor: TEL TOYO ELECTRONICS

Gold Sponsor: [Logo]

Co-sponsored by: [Logos: SERTIA, SONYVA KIRIN, etc.]

Supported by: [Logos: IN GEM, SODA, etc.]



# どうすれば日本の民主主義のデジタル化は進むのか —制度・意識・技術の視点から考えるデジタル・デモクラシーに向けての環境整備



Future Society Design Program 2023



どうすれば日本の民主主義のデジタル化は進むのか  
制度・意識・技術の視点から考えるデジタル・デモクラシーに向けての環境整備

2023年6月-2024年3月

[www.tfc.tohoku.ac.jp/jp/future-society-design-program/program/1002.html](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/jp/future-society-design-program/program/1002.html)



## イベント

- 地方議員のための議会DXセミナー (2023年6月1日)
- インターネット投票による主権者教育 (仙台 2023年7月予定 / 東京 日程未定)
- 民主主義に係る学術会議 (V-Dem East Asia) (2023年11月予定)
- インターネット投票に関する市民シンポジウム (2023年開催予定)
- 成果報告会 (2024年2月予定)
- 地方議会のデジタル化に関する宮城県民フォーラム (2024年3月予定)

## オーガナイザー

- 河村 和徳 (東北大学)
- 市ノ瀬 亮 (株式会社VOTE FOR)
- 木村 泰知 (小樽商科大学)
- コソングキ (大田大学)
- バク ジェヨン (KEvolving, Inc)
- 湯淺 聖道 (明治大学)



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

[www.tfc.tohoku.ac.jp](http://www.tfc.tohoku.ac.jp)



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

2023

2024

# 持続可能なエネルギー戦略における原子力の位置付け - リスクマネジメントの観点からの再定義

TOHOKU UNIVERSITY

10th Anniversary  
Tohoku Forum for Creativity  
Tohoku University

Future Society Design Program 2023-2024

## Positioning of Nuclear Energy in Sustainable Energy Strategies

Redefining from a Risk Management Perspective

RISK vs BENEFIT

www.tfc.tohoku.ac.jp/future-society-design-program/program/5004.html

August 2023 - August 2024

### Events

- Decommissioning Workshop : Statuses of Nuclear Decommissioning in Japan and in US - Knowing the Differences (August 4, 2023)
- Risk Acceptance Workshop: Dialogue Based on the Results of a Comparative Study of Attitude Formation Factors toward Nuclear Technology in Japan and in US (January - February, 2024)

### Organizers

Yutaka Watanabe (Tohoku University) Makoto Takahashi (Tohoku University)  
 Todd Allen (University of Michigan) Yugo Ashida (JOINLU International Inc.)

Premium Sponsor TEL TOHOKU ELECTRIC POWER CO. LTD. Gold Sponsor JOHNS HOPKINS UNIVERSITY Co-hosted by FReND M MICHIGAN STATE UNIVERSITY NUCLEAR ENGINEERING & RADIOLOGICAL SCIENCES JOINLU

TOHOKU FORUM for CREATIVITY

www.tfc.tohoku.ac.jp



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

# 未来の食のデザイン

**Tohoku Forum for Creativity  
Thematic Program 2024**

**Designing Foods  
for the Future**

**August – October 2024**

[www.tfc.tohoku.ac.jp/  
program/2168.html](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/program/2168.html)

**Events**

**Joint Symposiums**

- Argentinean-Japanese Lactic Acid Bacteria (August 8-9, 2024 @CERELA-CONICET, Argentina)
- Designing Foods for the Future (September 19-21, 2024 @Tohoku University, Japan)
- Functional Foods, Medicinal Foods & Food Psychology (October 25-26, 2024 @Taipei Medical University, Taiwan)

**Workshops**

- Synchrotron Light for Future Foods (September 17-18, 2024 @Tohoku University, Japan)
- Health and Well-Being (September 17-19, 2024 @Tohoku University, Japan)

**Organizers**

Haruki Kitazawa (Tohoku University)  
Hitoshi Shirakawa (Tohoku University)  
Masahiko Harata (Tohoku University)  
Tomonori Nochi (Tohoku University)  
Nobuyuki Sakai (Tohoku University)  
Yuki Takayama (Tohoku University)  
Rong-Hong Hsieh (Taipei Medical University)  
Suh-Ching Yang (Taipei Medical University)  
Julio Willena (CERELA-CONICET)

Premium Sponsor: TEL (www.tel.com.ar) | Gold Sponsor: [Logos] | Co-hosted by: Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University | In cooperation with: SRIS, [Logos] | In association with: Innovation Center for Future Agricultural Production and Food Industry (ICFAP)

**TOHOKU FORUM for CREATIVITY** | [www.tfc.tohoku.ac.jp](http://www.tfc.tohoku.ac.jp)



2024

# コミュニケーションの未来を拓く



### Events

- Social Memory: Neural Basis of Communication, Part 1 (September 5 – 6, 2024)
- Reward, Motivation, and Beyond: Neural Basis of Communication, Part 2 (October 14, 2024)
- Towards the Future of Communication: Creating an Inclusive World with Neuro/Bioscience and Engineering Technologies (March 26 – 28, 2025)

### Organizers

**Ken-ichiro Tsutsui**  
(Tohoku University)

**Noriko Osumi**  
(Tohoku University)

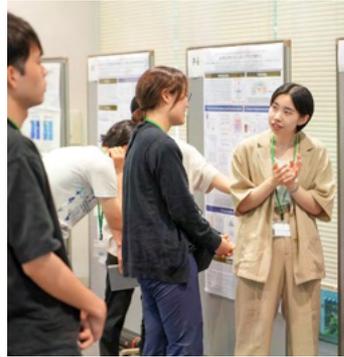


Co-hosted by

- Neuro Global International Joint Graduate Program
- Graduate School of Life Sciences, Tohoku University
- Tohoku University Graduate School of Medicine
- Tohoku University Brain Science Center
- Moonshot Goal 3
- National Research Program for Neurological Disorders and Mental Health
- Multidisciplinary Frontier Brain and Neuroscience Discoveries

TOHOKU FORUM for CREATIVITY

[www.tfc.tohoku.ac.jp](http://www.tfc.tohoku.ac.jp)



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

2024

# 強く相互作用する量子少数多体系の普遍性



Tohoku Forum for Creativity  
Junior Research Program 2024

## Universality of Strongly Correlated Few-body and Many-body Quantum Systems

August - September 2024

[www.tfc.tohoku.ac.jp/  
junior-research-program/  
program/8007.html](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/junior-research-program/program/8007.html)



### Events

- Public Lecture by Famous Expert of Quantum Systems: Prof. Dam Thanh Son (University of Chicago)
- International Workshop: Universality of Quantum Systems: From Cold Atoms, Nuclei, to Hadron Physics (September 4 - 5, 2024)

### Organizers

Shimpei Endo (University of Electro-Communications) Kelsuke Fujii (University of Tokyo) Masaru Hongo (Niigata University) Daisuke Yoshida (Tohoku University)

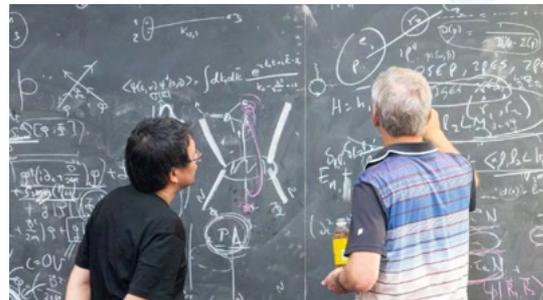


Co-hosted by Department of Physics, Faculty of Science, Tohoku University



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

[www.tfc.tohoku.ac.jp](http://www.tfc.tohoku.ac.jp)

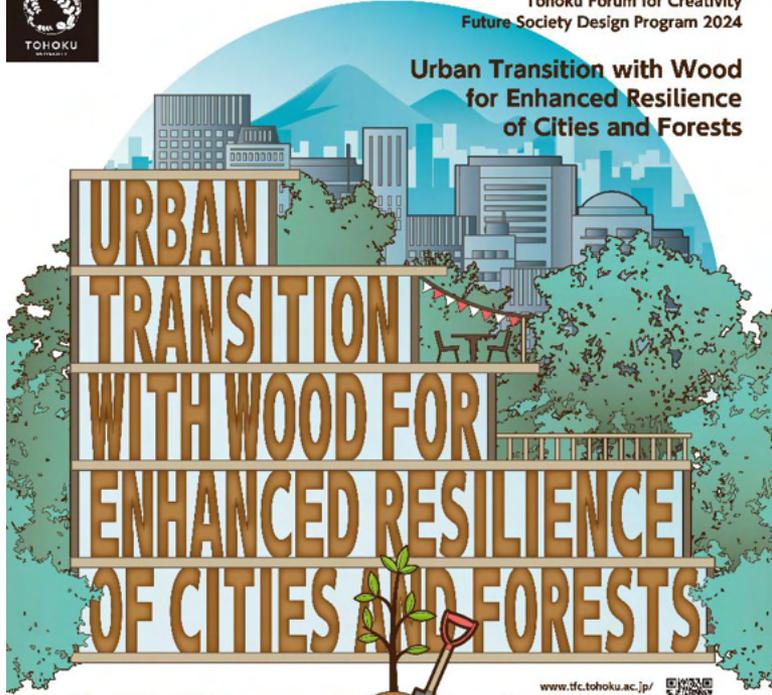


TOHOKU FORUM for CREATIVITY



Tohoku Forum for Creativity  
Future Society Design Program 2024

Urban Transition with Wood  
for Enhanced Resilience  
of Cities and Forests



November 2024

[www.tfc.tohoku.ac.jp/future-society-design-program/program/5007.html](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/future-society-design-program/program/5007.html)



Events

- Workshop on Locality Based on the advanced case study of Maniwa City, Okayama Prefecture (November 17-18, 2024 at Maniwa City & Meikan Linnwood Corporation)
- The 3rd Global Seminar: ON SUSTAINABLE & EARTHQUAKE RESILIENT STRUCTURES (November 19, 2024 at Okayama University Commons, Okayama University)
- Workshop on Resilience: Learning from the Great East Japan Earthquake Reconstruction (November 20-21, 2024 at Sorobu 211 Memorial Community Center)
- Public Seminar: Facts, Challenges and Future Prospects of Forestry and Wood Construction in the World (November 21, 2024 at TOKYO ELECTRON House of Creativity, Tohoku University)
- Global WS: Urban Transition with Wood for Enhanced Resilience of Cities and Forests (November 22, 2024 at TOKYO ELECTRON House of Creativity, Tohoku University)

Organizers

- Naoki Maeda (Tohoku University)
- Naoyuki Matsushima (Tohoku University)
- Yutaka Goto (Carlson University of Technology / Tohoku University)
- Robert Jochner (Technical University of Dresden)
- Lisa Ottenhaus (The University of Queensland)
- Yasuteru Karube (CONTEC Co., Ltd.)



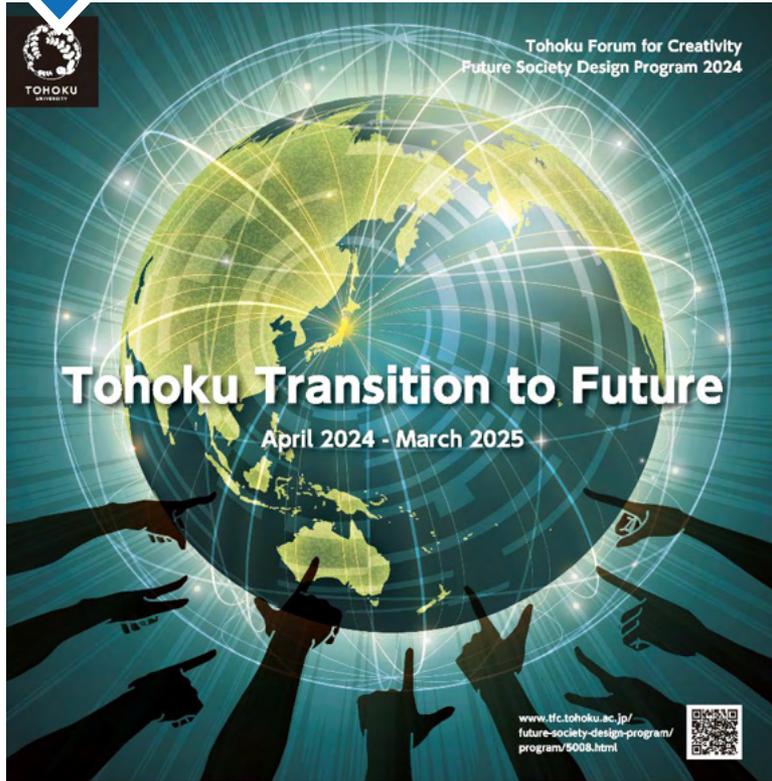
Co hosted by 岡山大学 (Okayama University)

[www.tfc.tohoku.ac.jp](http://www.tfc.tohoku.ac.jp)



2024

# 東北発 未来へのトランジッション



### Events

- Co-creation Session with Citizens (January 24, 2025)
- Final Symposium (March 24, 2025)

### Organizers

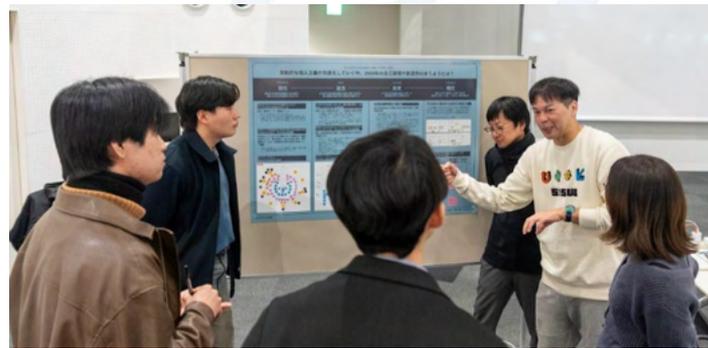
Makoto Takahashi (Tohoku University) Shuichi Ishida (Tohoku University)  
Yasuhiro Fukushima (Tohoku University) Masaki Iwabuchi (JPMorgan Chase & Co, USA)



Co-hosted by Graduate School of Engineering, Tohoku University

TOHOKU FORUM for CREATIVITY

www.tfc.tohoku.ac.jp



TOHOKU FORUM for CREATIVITY

# 2027年度開催テーマプログラムの運営・実施スケジュール(例)

## 準備期間

2026年度

- ・ **準備会議**：全体会議・打合せ（1回／月）、個別相談
- ・ **プログラム企画**
- ・ **イベント開催**：Pre-event
- ・ **広報関連**：ポスターデザイン、ホームページ作成 等

## 本プログラム

2027年度

- ・ **運営会議**：全体会議（1~2回／月）、個別相談
- ・ **イベント企画・運営**：国際シンポジウム、ワークショップ、共催アウトリーチ
- ・ **研究者招聘**：国内招聘、海外招聘（講演謝金）
- ・ **広報**：イベント告知(本部HP掲載依頼、TFCのHP, SNS掲載)、イベント中の写真撮影等
- ・ **報告書作成**

2028年度

- ・ **アニュアルレポート作成**  
(TFC側で作成)



# 未来社会デザインプログラム 採択例

## 【2022年度 実施プログラム】

**公共空間を活用したダイバーシティ&インクルージョン推進プロジェクト  
～パブリックスペースにおけるポッチャ体験モデルの確立に向けて～**

御手洗 潤 (東北大学大学院法学研究科)  
NEC, 昭和

**動力学・物理・化学エネルギーを利用した  
CFRPへの耐雷性金属コーティング技術の確立**

小川 和洋 (東北大学大学院工学研究科)  
東レ, JAXA

## 【2022年度 – 2023年度 実施プログラム】

**XR技術の教育・社会への貢献と提言**

**～仮想空間における国際的協働と人材育成の実践～**

林 雅子  
(東北大学高度教養教育・学生支援機構言語・文化教育センター)  
リコー、ASA デジタル

## 【2023年度 実施プログラム】

**エネルギー関連インフラの持続可能な構造健全性**

内一 哲哉 (東北大学流体科学研究所)  
NEC

**環境由来ストレスへの応答メカニズム解明から挑む人類の生存戦略**

山本雅之 (東北メディカル・メガバンク機構)  
上原記念生命科学財団  
公益財団法人 インテリジェント・コスモス学術振興財団 等

**どうすれば日本の民主主義のデジタル化は進むのか**

**一制度・意識・技術の視点から考えるデジタル・デモクラシーに向けての環  
境整備**

河村 和徳 (東北大学大学院情報科学研究科)  
NEC

## 【2023年度 – 2024年度 実施プログラム】

**持続可能なエネルギー戦略における原子力の位置付け  
–リスクマネジメントの観点からの再定義**

渡邊 豊  
(東北大学原子炉廃止措置基盤研究センター)  
JOINLU International Inc.

## 【2024年度 実施プログラム】

**木とともにある社会の変革がもたらすレジリエントな未来都市と森林を  
目指して**

前田 匡樹  
(東北大学大学院 工学研究科)  
銘建工業株式会社

## 東北発 未来へのトランジション

高橋 信  
(東北大学大学院 工学研究科)

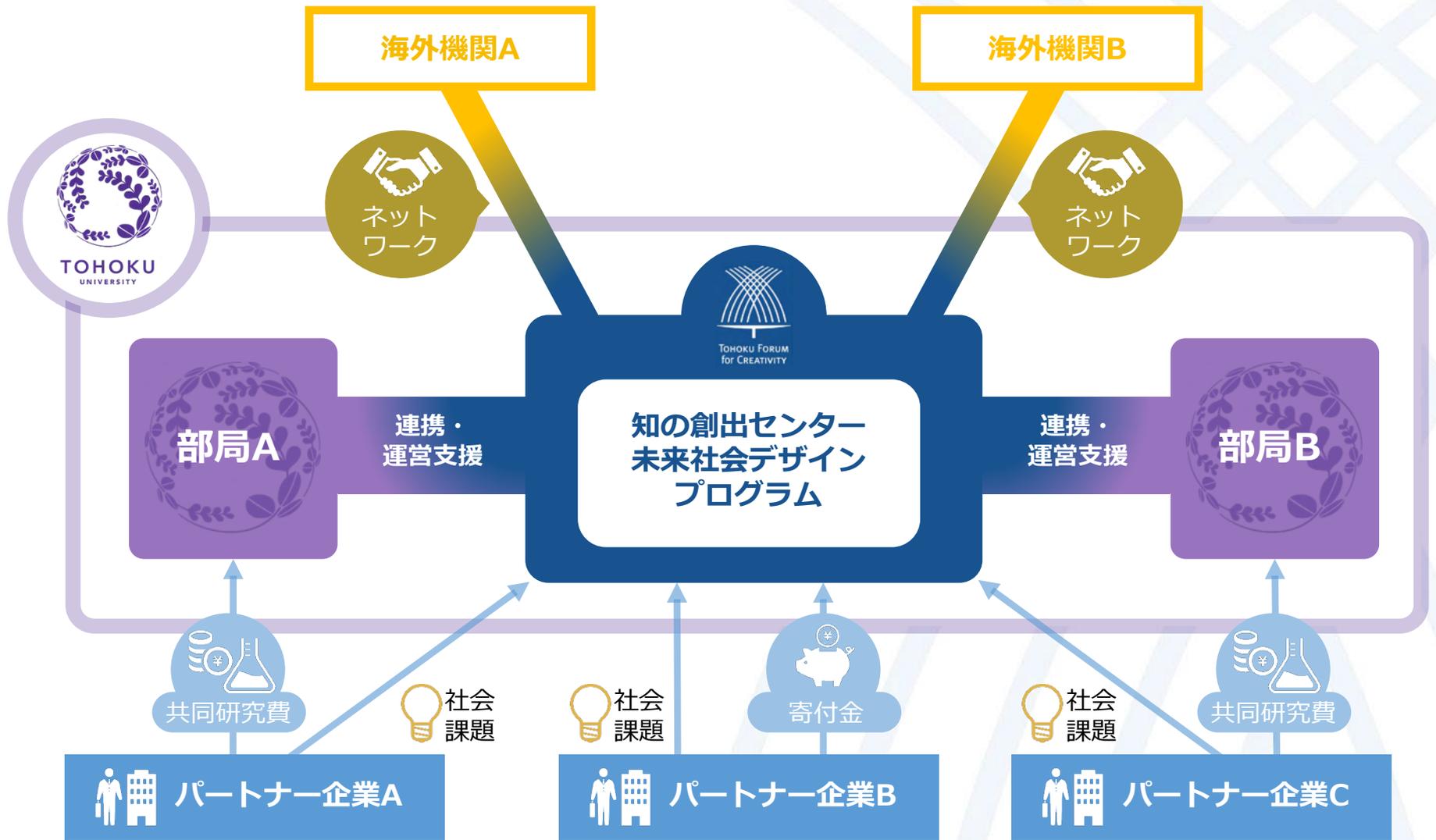
## 【2025年度 実施プログラム】

**超硫黄生命科学切り開く健康社会の新時代**

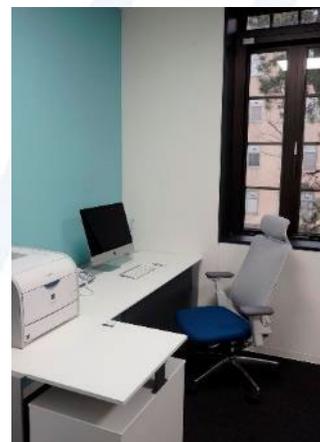
赤池 孝章  
(東北大学大学院 医学系研究科)  
島津製作所



# 未来社会デザインプログラムのイメージ



# 東北大学 知の館 TOKYO ELECTRON House of Creativity



# 関連するURL

- **Submission Guidelines**

[https://www.tfc.tohoku.ac.jp/programs/propose\\_a\\_program/to\\_propose\\_a\\_program.html](https://www.tfc.tohoku.ac.jp/programs/propose_a_program/to_propose_a_program.html)

- **July 7, 2025, 16:30 – 19:30@Tokyo Electron House of Creativity  
2024 Program debriefing Session and Networking**  
For participation, mail to [tfc\\_pg@grp.tohoku.ac.jp](mailto:tfc_pg@grp.tohoku.ac.jp)



# 提案の評価基準

- Evaluation Criterion 1 (Challenge and Outreach)
- Evaluation Criterion 2 (Internationality, Interdisciplinarity and Reasonability in implementing at Tohoku University)
- Evaluation Criterion 3 for TP and JRP (Visiting and Stay Program)  
Evaluation Criterion 3 for FSD (Feasibility of Financial Cooperation)
- Evaluation Criterion 4 (Participation of Young People and Contribution to their Leap).



# 公募説明会での質問内容（1）

1. 東北大学の外でシンポジウム等を開催することは可能か。  
サテライトイベントとして、プログラムに密接に関連している場合には開催可能です。
2. 長期滞在者と短期滞在者の予定者の分け方はどうか。  
短期滞在者は著名な先生、長期滞在者は若手も含む共同研究者などが想定されます。招聘者にはPDも可能です。長期滞在中は、ワークショップ等での講演に加えて、学生の共同指導や将来のプロジェクト申請などについて検討していただいています。
3. オーガナイザーは数が多い方がよいのか。  
実質的な議論ができる人数(6人以下)を想定しています。学際的な広がり、ジェンダーのバランスなどを考慮していただけると良いです。
4. ジュニアリサーチプログラムにおいて、招聘する著名な研究者の数は複数でも良いか。  
予算額内であれば問題ありません。



## 公募説明会での質問内容（2）

5. ジュニアリサーチプログラムにおいて、オーガナイザーは若手のみが良いのか。

若手の先生方でオーガナイザーを構成していただきたいですが、実施内容によりシニアの先生に入っていただくことを国際アドバイザリーボードより推奨していただいたこともあります。

6. 旅費の高騰で多くの招聘をすることは難しいと思うがどうか。

他の研究費等で来ていただける方を含めていただけると有難く存じます。

7. 経費で懇親会費等を支払うことはできるか。

規定の範囲内で支払可能です。アルコールについては不可です。

8. 国内からの参加者に旅費支給は可能か。

可能です。

9. ワークショップの形式は、大勢の講演者が短く話す形式と、少ない講演者が長く話す形式のどちらが良いか。

オーガナイザーの考え方で決めていただければ良いですが、知のフォーラムプログラムでは後者の例が多いようです。

